

消費者動向調査 No.109

テーマ「冬のボーナス使いみち調査」

- ◆ 調査時期 平成 23 年 10 月
- ◆ 調査対象 福岡県内のサラリーマン家庭の主婦 500 人
(うち回答者 483 人、回答率 96.6%)

- ◆ 回答者区分

A.年代

	%
20代	6.6
30代	28.6
40代	37.9
50代	19.7
60代	7.2

B.あなたのご家庭で

ボーナスがあるのは

	%
夫だけ	36.0
妻だけ	16.2
両方	47.8

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。

西日本シティ銀行
NCBリサーチ&コンサルティング

[調査結果本文]

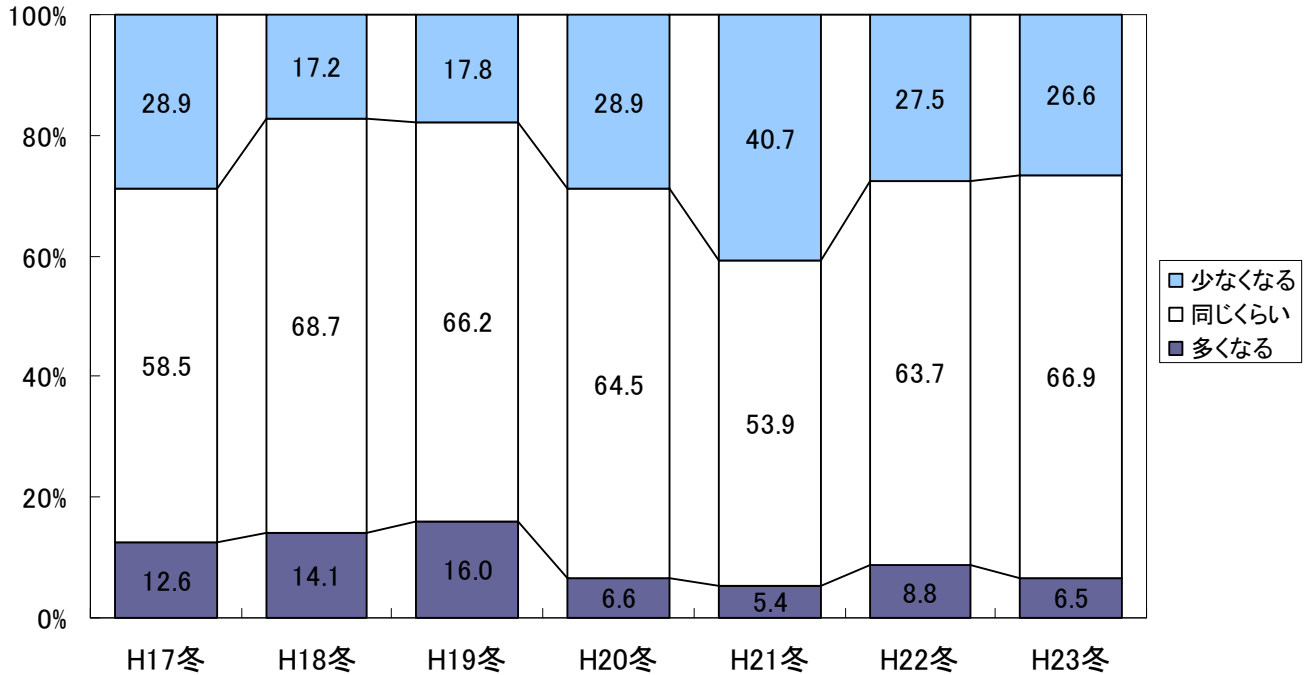
内閣府は11月の月例経済報告で、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」と発表しています。海外経済の減速や円高、タイの洪水の影響など、不安定要素が日本経済を取り巻いています。また、欧州各国の債務問題というリスク要因があり、景気の下振れが懸念されています。

このような中、消費者はこの冬のボーナス受給額をどのように予想し、どのように消費しようと考えているのでしょうか。また、冬のボーナスの使いみちについて、これまでと違った傾向は表れつつあるのでしょうか。ボーナス受給を間近にひかえ、福岡県在住の主婦を対象に冬のボーナスについての消費動向をたずねました。

◆今年の冬のボーナス、前年冬と比較して「多くなる」は2.3ポイント減少。

冬のボーナスが前年冬より「多くなる」は2.3ポイント減少し6.5%、「少なくなる」と予想する割合は0.9ポイント減少し26.6%。前年冬よりも、「同じくらい」と予想する割合が増加した。

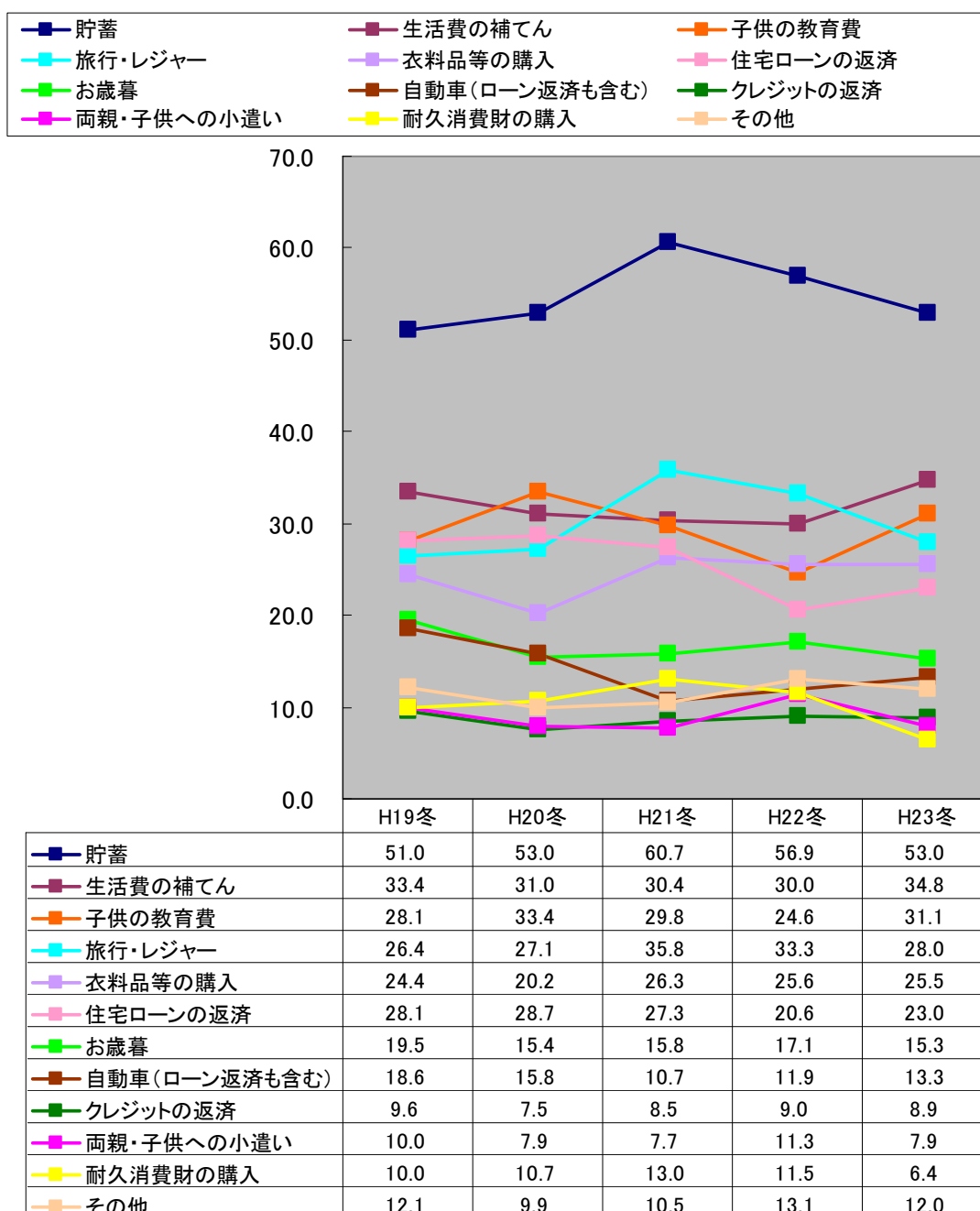
[グラフ1：冬のボーナスは昨年に比べどうなると予想していますか] (単位：%)



◆冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で53.0%。2位は「生活費の補てん」で34.8%。

冬のボーナスの支出予定1位は「貯蓄」で53.0%。これは前年冬の56.9%より3.9ポイント減少した。2位は「生活費の補てん」の34.8%、3位は「子供の教育費」の31.1%で、前年冬2位の「旅行・レジャー」は4位となった。

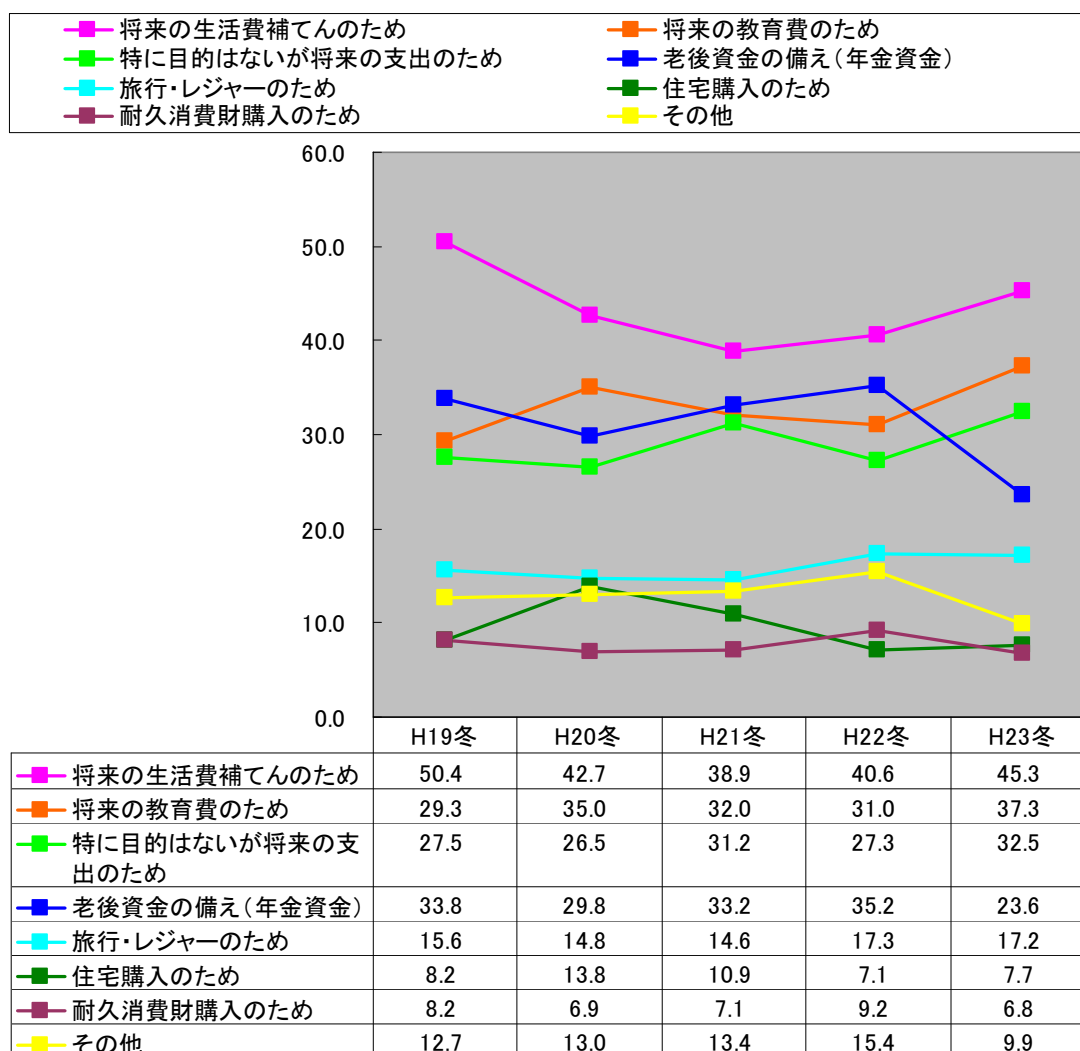
[グラフ2：冬のボーナスは何に使う予定ですか（3つまで）] (単位：%)



◆ボーナスを貯蓄する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で45.3%。2位は「将来の教育費のため」で37.3%。

冬のボーナスを貯蓄する目的の1位は、「将来の生活費補てんのため」が前年冬に比べ4.7ポイント増加し、45.3%でトップ。次いで「将来の教育費のため」は6.3ポイント増加し37.3%と、経済の先行きや雇用に対する不安からか、引続き将来への備えが上位を占める。

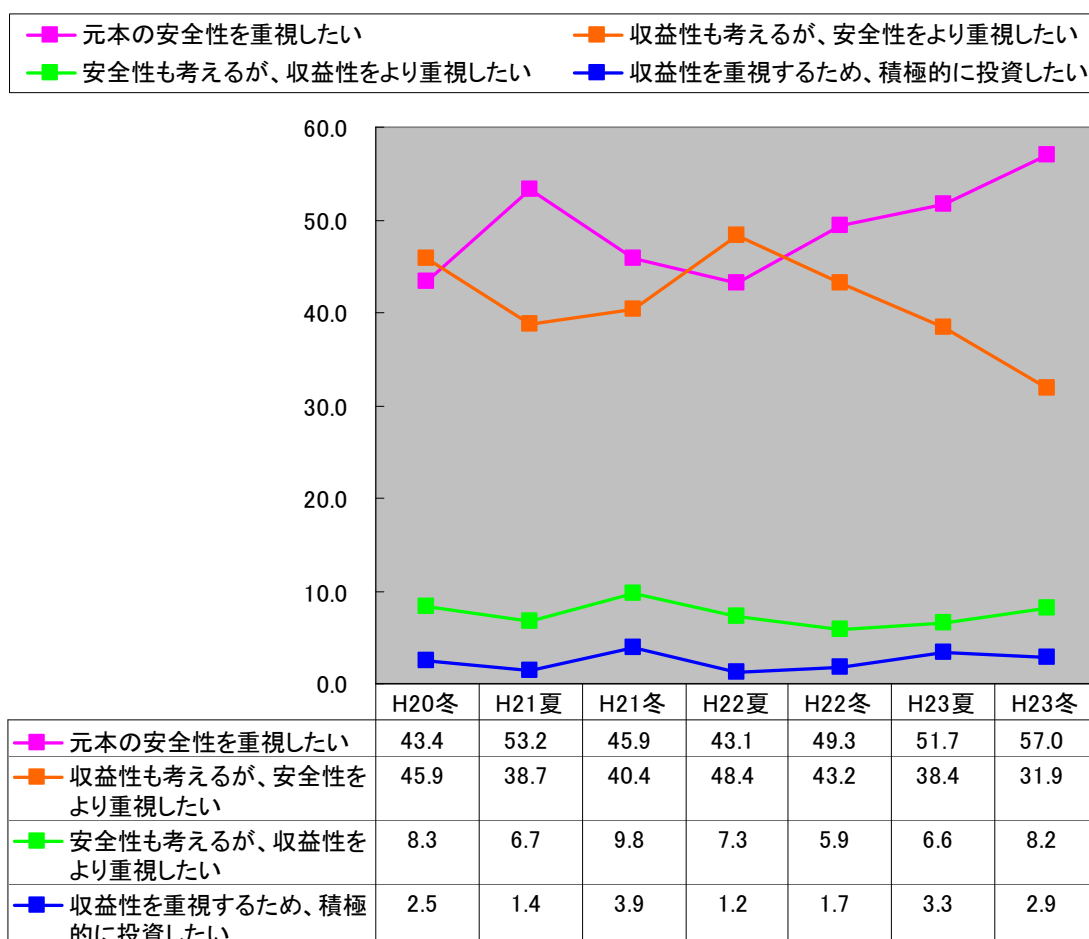
[グラフ3：将来の何のために冬のボーナスを貯蓄しますか（2つまで）]（単位：%）



◆冬のボーナスを貯蓄する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が57.0%で1位。

「元本の安全性を重視したい」が今年の夏から5.3ポイント増加の57.0%で3期連続1位。
「収益性も考えるが安全性をより重視したい」が今年の夏から6.5ポイント減少して31.9%。
引き続き安全志向がみられる。

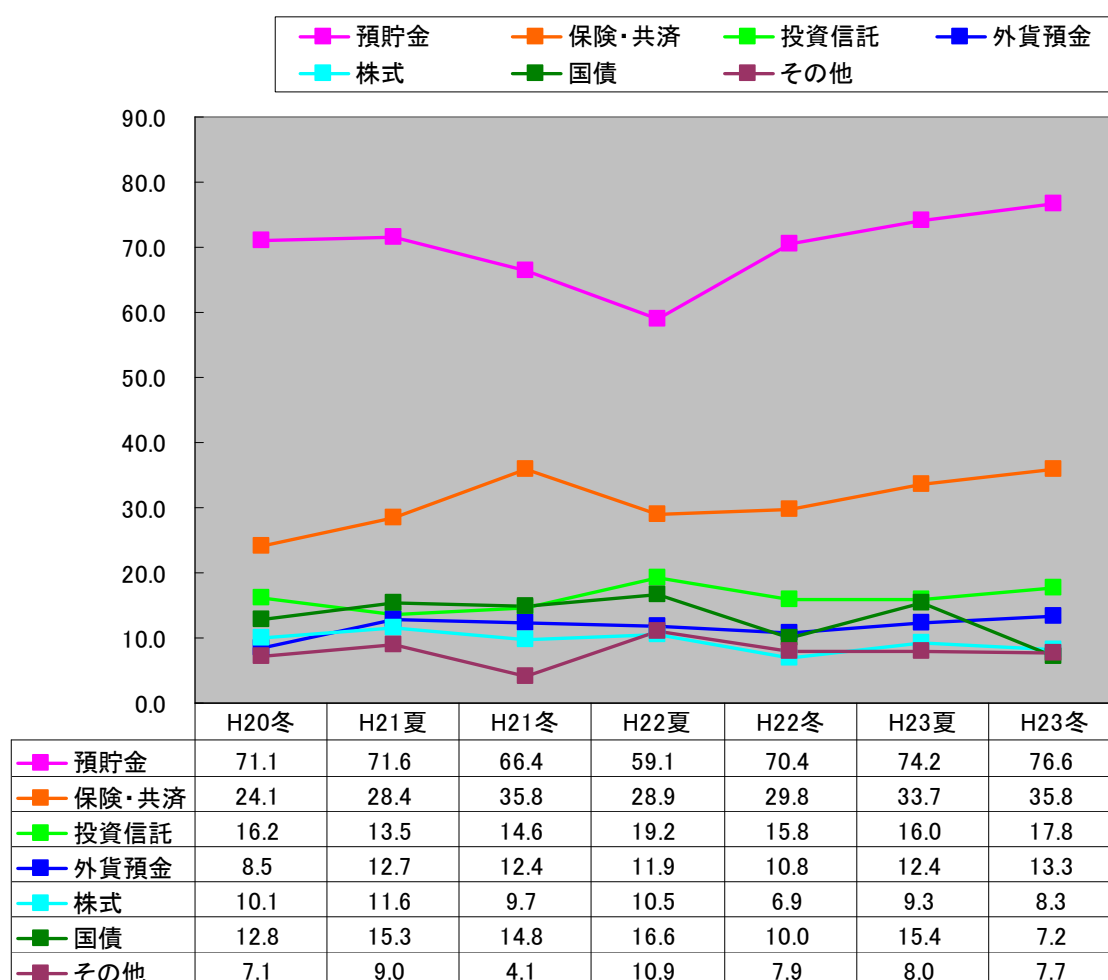
[グラフ4：冬のボーナスを貯蓄する場合、あなたの考えに近いのは]（単位：%）



◆関心がある金融商品、1位は「預貯金」で今年の夏より 2.4 ポイント増加し 76.6%。

現在関心がある金融商品は「預貯金」が 76.6%で 1 位。2 位は「保険・共済」で 35.8%。震災後の安全志向の強まりからか「預貯金」、「保険・共済」などの増加率が高くなっている。リスク商品に対しては、引き続き慎重なスタンスが続いているようである。

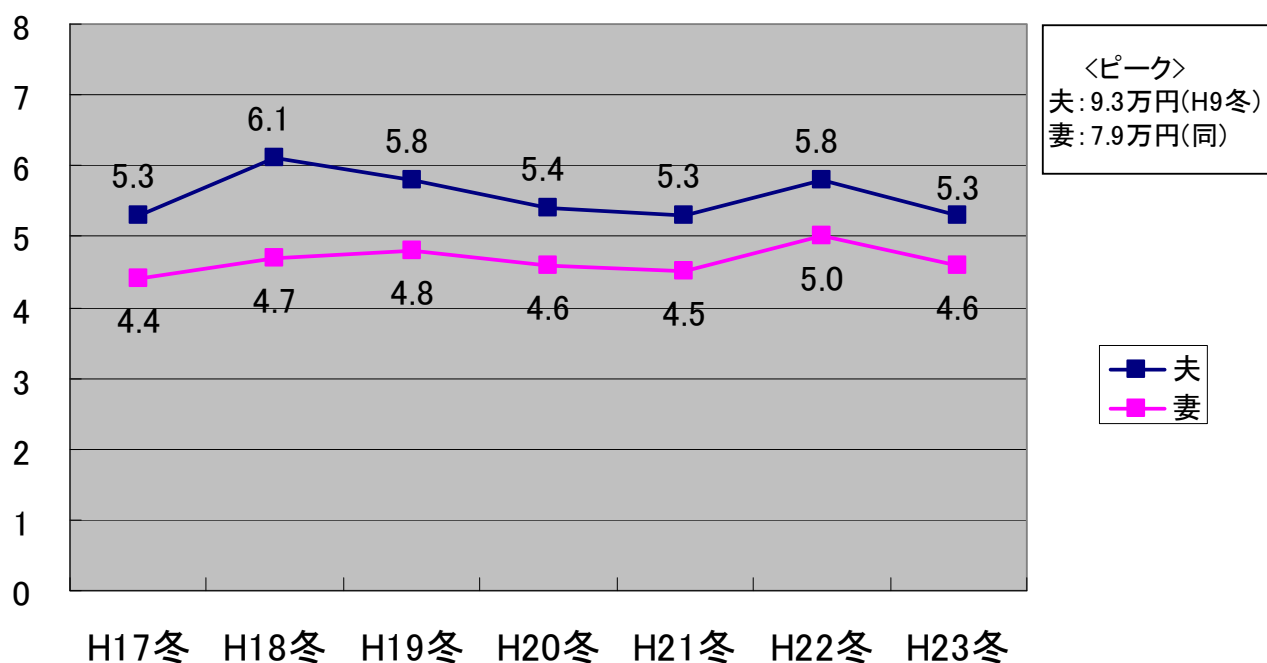
[グラフ 5 : どのような金融商品に関心がありますか (いくつでも)] (単位 : %)



◆冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は 5 千円ダウン。妻は 4 千円ダウン。

冬のボーナス、夫が自由に使える金額は平均 5.3 万円（前年冬比▲0.5 万円）。妻が自由に使える金額は平均 4.6 万円（前年冬比▲0.4 万円）。冬のボーナスが前年より“少なくなる”との予想は減少したものの、自由に使える金額は節約志向で減少しているようで、ほぼ 2 年前の水準となった。

[グラフ 6 : 自由に使える金額はどれくらいですか] (単位 : 万円)



この調査に関するお問い合わせ先は
 西日本シティ銀行 広報文化部 近道・柳 TEL 092-461-1869
 NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 香椎 TEL 092-476-3051